

レザーコンテナ エコノ・ホースタイプ 取扱説明書 MA-05T



エコノ・ホースタイプをご使用になる前に

- 当社製品を安全かつ正しく快適にお使いいただくために、必ず本取扱説明書をお読み下さい。誤った使用方法是事故をひきおこす恐れがあります。
- お読みになったあとも必ず、製品と共に保管して下さい。
- 本製品を貸与または譲渡なさる場合は、この取扱説明書を必ず添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、すみやかに販売店にご注文下さい。
- なお、本製品は安全対策や、機能向上のため使用部品の一部変更を行う場合があります。このためイラストなどの一部が本製品と一致しないことがありますのであらかじめご了承下さい。
- また、ご不明の点やお気づきのことがございましたら、お買い上げ頂きました販売店、農協などにご相談下さい。



印付きの下記マークは、安全上、お客様にかかわる重要な項目です。必ず、お守り下さい。



危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。



株式会社 たいしよー

■ 安全に作業をするために



注意

トラックへの積み込み、積み下ろしは平らな場所で行う。

【守らないと】

事故を起こす恐れがあります。



注意

コンテナはトラックに固定する。

コンテナのフック（4ヶ所）とトラックの荷台を、ロープなどで確実に固定して下さい。

【守らないと】

荷台からコンテナが転落したりして、事故を起こす恐れがあります。



注意

積載重量は使用するトラックについての道路交通法の制限を守る。

【守らないと】

道路交通法違反になります。



注意

電源プラグを差し込む前に本体スイッチが「停止」になっていることを必ず確認する。

【守らないと】

機械が急に動き出したりして、ケガをする恐れがあります。



注意

急発進・急ハンドルを避け、慎重に運転する。

【守らないと】

転倒したりして、事故を起こす恐れがあります。



注意

運転中はその場から離れない。

【守らないと】

緊急時の対応が遅れ、事故や機械の破損を引き起こす恐れがあります。



注意

コ字ピンにRピンを確実に差し込む。

【守らないと】

柱、梁等がはずれて、事故を起こす恐れがあります。



注意

ホースが本体に差し込んであるときは、ホースの排出口に手などを入れない。

【守らないと】

機械に巻き込まれたりして、ケガをする恐れがあります。



注意

モーターカバー内に手などを入れない。
モーターカバーを外して使用しない。

【守らないと】

機械に巻き込まれたりして、ケガをする恐れがあります。



注意

運転中や停止直後は、モーターに手などを触れない。

【守らないと】

モーター本体が熱くなっており、ヤケドをする恐れがあります。



注意

保守・点検時は必ず電源プラグを抜く。

【守らないと】

機械が急に動き出したりして、ケガをする恐れがあります。



注意

コンテナを宙吊りにして保管しない。

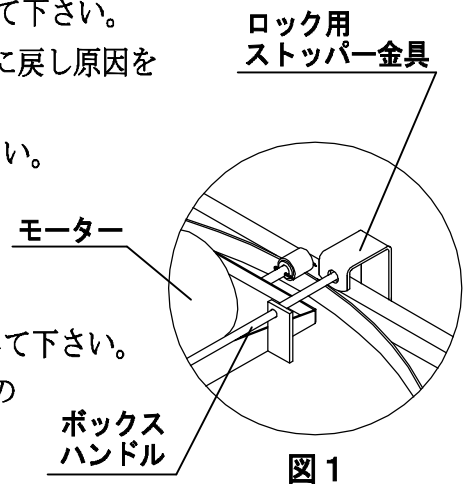
コンテナを保管する時は、平らな所に転倒しない状態で置いて下さい。
決して宙吊りでの保管はしないで下さい。

【守らないと】

落下事故などにより、ケガや下の物を壊す恐れがあります。

■ 使用上の注意

- (1) 運転開始前に、モーターの回転方向を確認して下さい。（回転方向を矢印に合せて下さい。）
- (2) 必要以上にバネホースを空運転させないで下さい。空運転が続きますとホースが破ける恐れがあります。特に手動排出の場合、注意して下さい。
- (3) サーマルが働きモーターが止まった場合、一旦スイッチを停止に戻し原因を取り除いた後、2～3分後に再起動させて下さい。
- (4) 湿った糞の場合は、シャッターを絞り手動排出で糞を出して下さい。（絞りすぎに注意して下さい。
絞りすぎるとホースに穴が開くことがあります。）
- (5) シャッターを閉めた場合、レバーを確実に差し込んで下さい。
- (6) ジョイントボックス(首振り部)は、排出作業時以外はロックして下さい。（ボックスハンドルの後端部を本体のロック用ストッパー金具の丸穴の中に差し込んで下さい。）（図1参照）
- (7) 自動運転の場合、シャッターは全開で使用して下さい。
残量センサーはシャッター全開時以外は動作しません。
- (8) ひもやなわ等、穀物以外のものをホッパーの中に入れないで下さい。
- (9) モーターやスイッチボックスには雨や水がかからないようにして下さい。
- (10) 電源は必ず専用コンセントからとって下さい。
（延長コードを使用する場合は、太さが2mm以上で長さは30m以下でご使用下さい。
また、タコ足配線やコードを巻いたままでのご使用は、機械の故障の原因となります。）
- (11) 使用後はホッパーを外し、きれいに掃除をして日の当たらない屋内で保管して下さい。



■組立手順

- (1) ホッパー金具を本体中央部に、奥まで差し込みます。(図2-①)
- (2) ホッパー金具を金具おさえで固定します。(図2-②)
- (3) 丸頭ピンとRピンで、金具おさえと本体を固定します。(図2-③)
- (4) 本体の4隅に柱を差し込みます。(相マークで合わせて下さい。)
- (5) 上部の梁Dをホッパーに通して柱の梁受けに入れます。(前後2本)
- (6) 上部の梁Cをホッパーに通して柱の梁受けに入れます。(左右2本)
- (7) 上部の4隅にコ字ピンを差し込みます。
- (8) (5)(6)(7)の要領で下部の梁4本をセットします。
- (9) コ字ピンにRピンを差し込みます。(図3. 組み上り図参照)

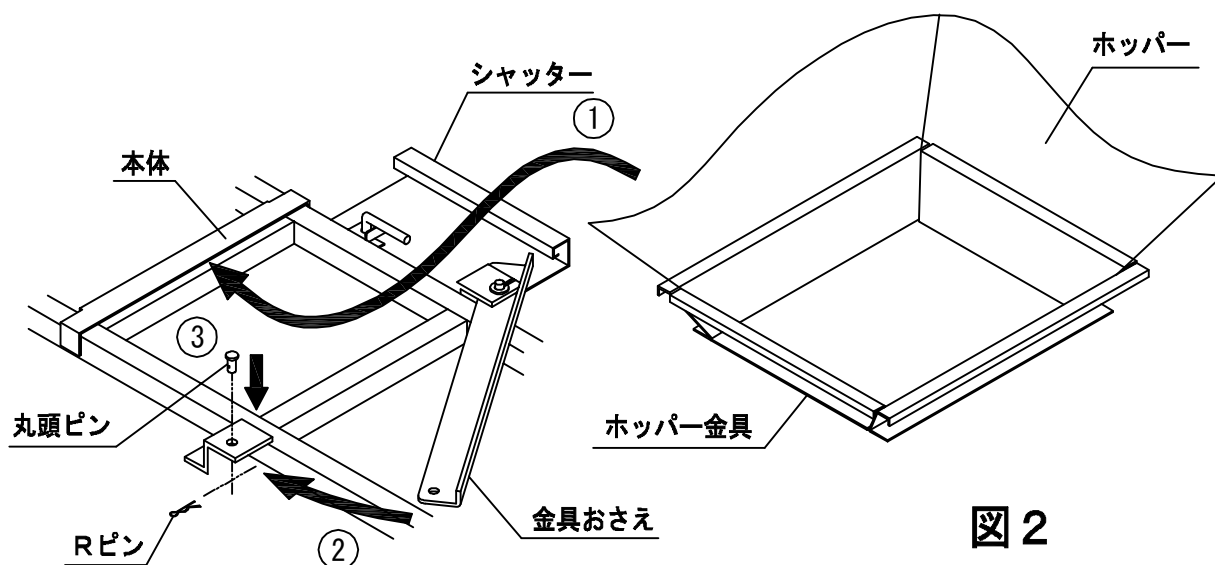


図2

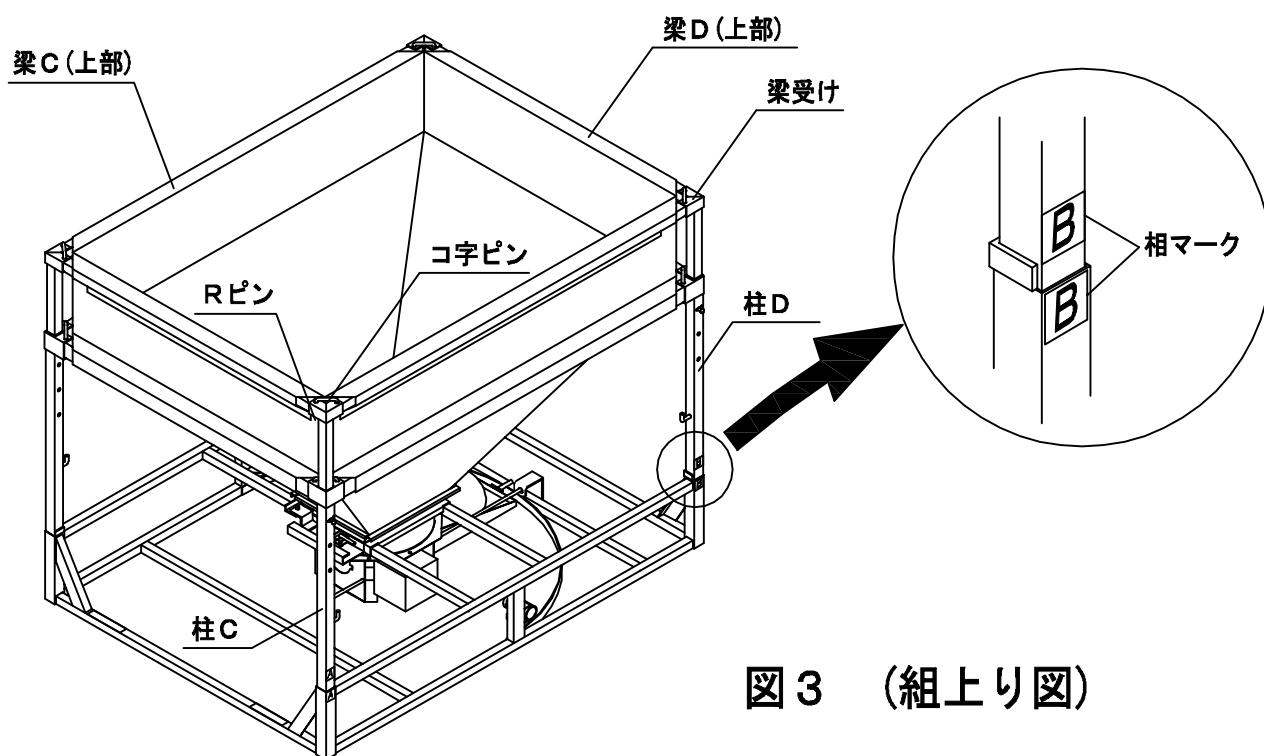
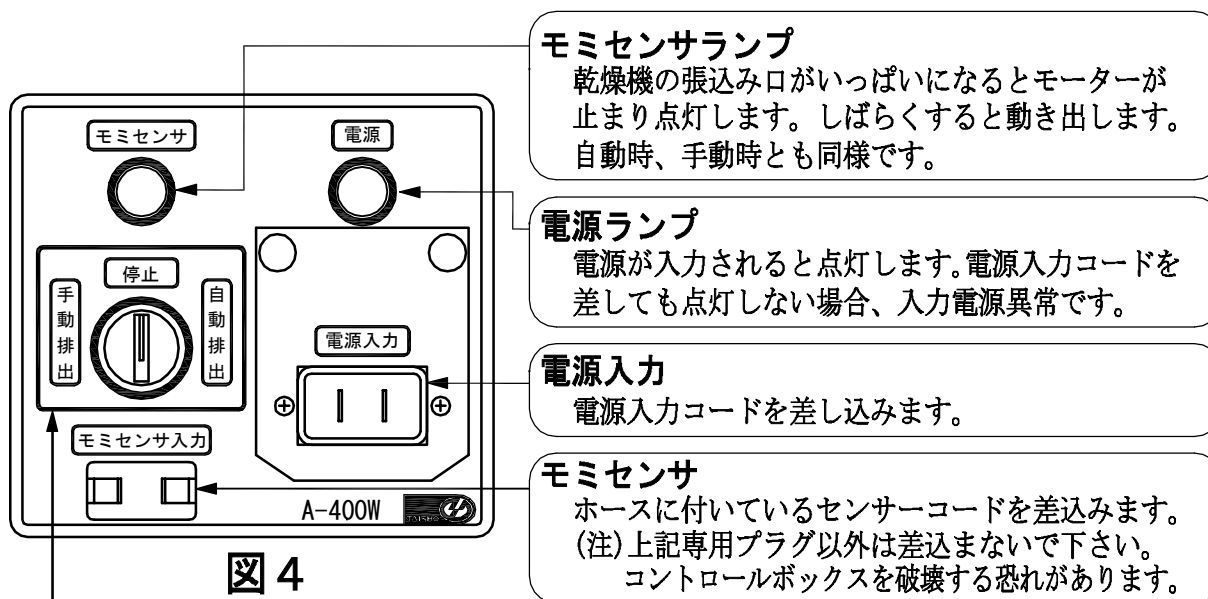


図3 (組み上り図)

■ コントロールボックスの説明



運転切替スイッチ（電源投入後、5秒間は動作しませんのでご注意ください。）

（１）自動排出

- ① ホッパー内に粳が多量にあり、シャッターを全開で粳を排出する場合に使用します。
- ② ホッパー内の粳が少なくなると、自動的に残量センサーが働きモーターが停止します。

（２）手動排出

- ① 自動排出後、ホッパー内に残った粳を排出する場合に使用します。
- ② シャッターを全開にしない場合 に使用します。(湿った粳や排出量を調整して排出する場合)
(シャッターを絞りすぎるとホースに穴が開くことがありますので注意して下さい。)

■ 排出手順

（１）排出１

一般的な排出の場合

- ① ホースを差し込みます。
- ② 電源コードを差し込みます。
- ③ スイッチを自動排出にします。
- ④ シャッターを全開にします。
残量センサーが作動するまで
粳が排出され、その後自動的に
止まります。
- ⑤ スイッチを手動排出にします。
(残った粳をすべて排出させます。)
- ⑥ 排出終了後、スイッチを停止にします。
- ⑦ シャッターを閉めレバーを入れます。
- ⑧ 電源コードを外します。
- ⑨ ホースを外します。

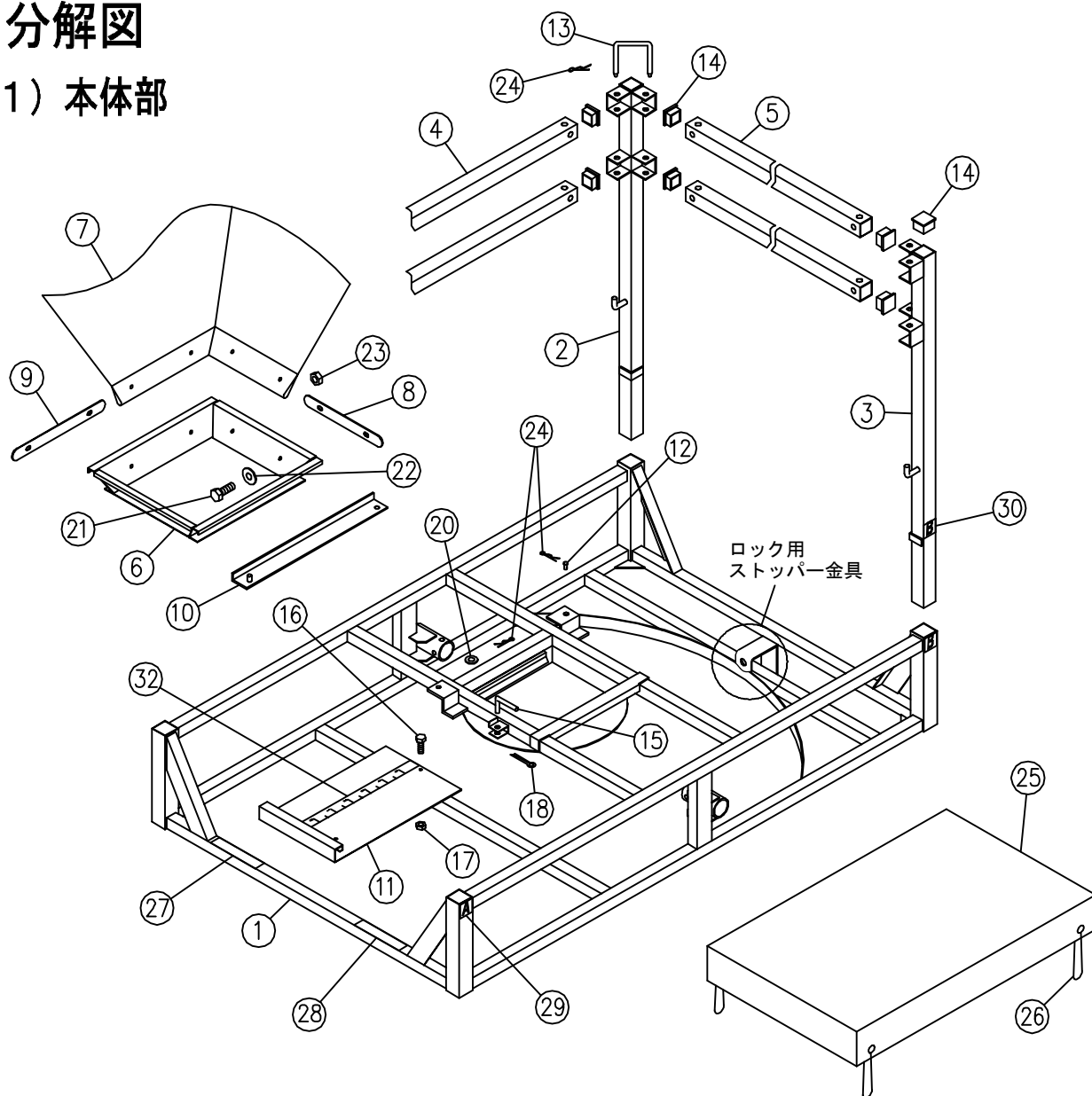
（２）排出２

湿った粳や排出量を調整して排出する場合

- ①～② は排出１と同じです。
- ③ スイッチを手動排出にします。
- ④ シャッターを適度にあげます。
粳が排出されます。
(シャッターの開け忘れによる空運転、
シャッターの絞りすぎはホース穴開き
原因となります。注意して下さい。)
- ⑤～⑧ は排出１⑥～⑨と同じです。

■ 分解図

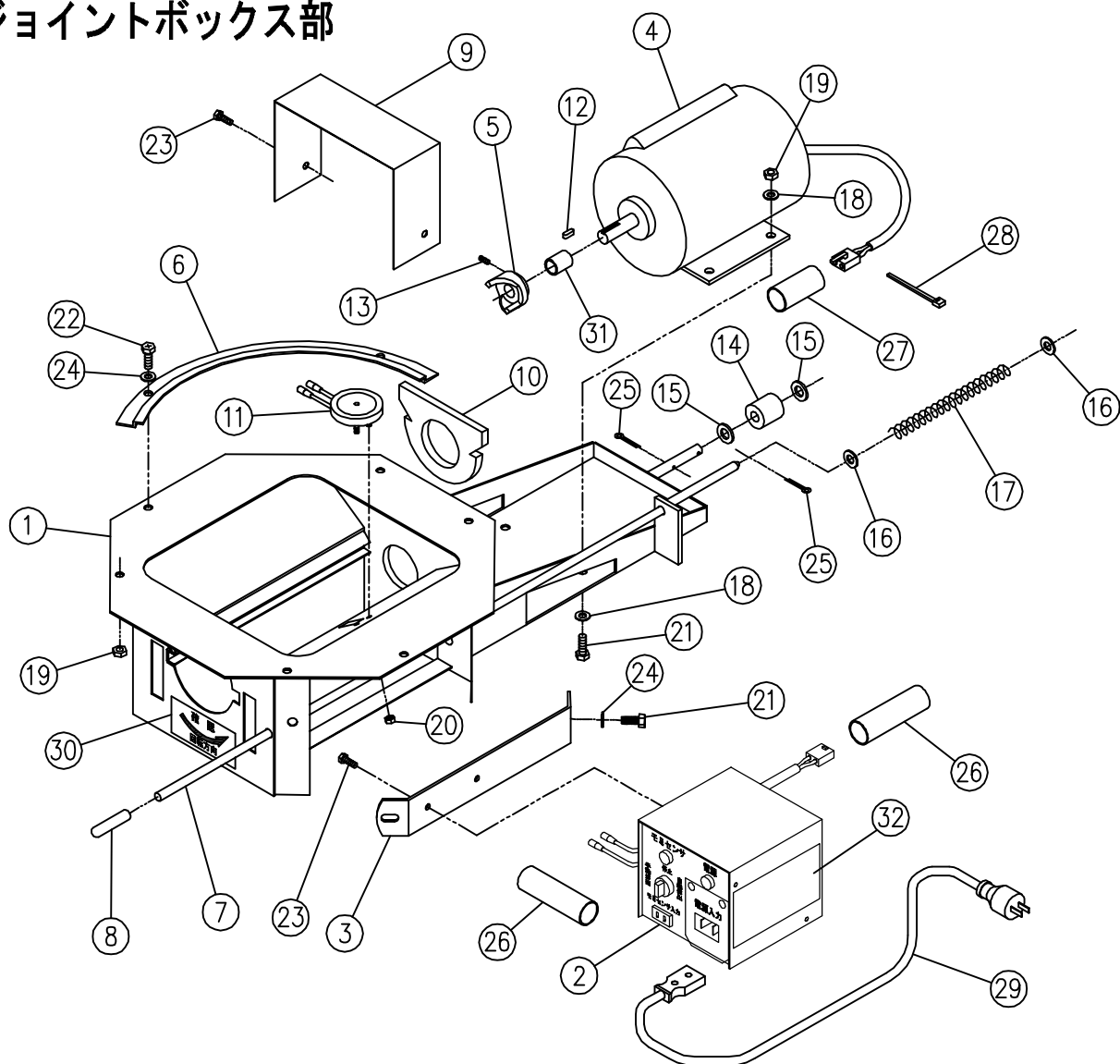
(1) 本体部



No	部 品 名	数 量	No	部 品 名	数 量	No	部 品 名	数 量
1	ベース小	1	12	丸頭ピン(金具押さえ用)	1	23	六角ナット (M8 SW付)	8
2	柱C	2	13	コ字ピン	8	24	Rピン (φ10用)	10
3	柱D	2	14	角栓 (40×40×t2.0用)	20	25	両よけシート	1
4	梁C (40×40×1503)	4	15	レバー	1	26	引掛けゴム	4
5	梁D (40×40×933)	4	16	六角ボルト (M6×10)	1	27	型式シール	1
6	ホッパー金具	1	17	六角ナット (M6 SW付)	1	28	注意シール67-064-2005	1
7	ホッパー小(05用)	1	18	割ピン (φ2.5×20)	1	29	相マークシールA	4
8	ホッパーおさえ板A	2	19	—————	—	30	相マークシールB	4
9	ホッパーおさえ板B	2	20	平座 (M10)	1	31	取扱説明書	1
10	金具おさえ	1	21	六角ボルト (M8×20)	8	32	目盛りシール	1
11	シャッター	1	22	平座 (M8)	8			

※ ボルト、ナット、ネジ類は汎用品を使用しておりますので、市販品でも代替できます。

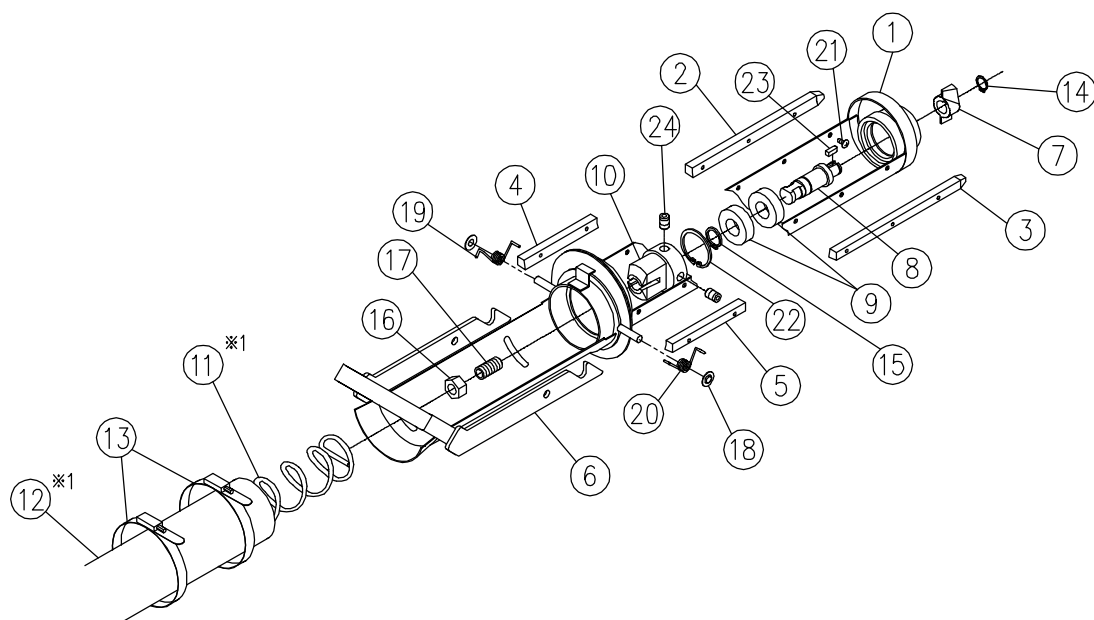
(2) ジョイントボックス部



No	部 品 名	数 量	No	部 品 名	数 量	No	部 品 名	数 量
1	ジョイントボックス	1	12	キー (5×5×15)	1	23	六角ボルト (M6×15SW付)	4
2	スイッチボックスアッシー	1	13	セットスクリュー(M5×10)	1	24	平座 (M8)	8
3	取り付け板	1	14	コロ	1	25	割ピン (φ3.2×20)	4
4	モーター (単相400W)	1	15	平座 (M12用)	2	26	被覆パイプ1 (φ18×100)	2
5	クラッチツメ(穴径 φ16)	1	16	平座 (M10用)	2	27	被覆パイプ2 (φ18×60)	1
6	ジョイントボックスおさえ	3	17	バネ	1	28	インシュロックタイ	1
7	ボックスハンドル	1	18	平座 (M8用)	8	29	電源コード (単相用)	1
8	塩ビキャップ	1	19	六角ナット (M8 SW付)	10	30	回転方向シール	1
9	モーターカバー	1	20	六角ナット (M5 SW付)	2	31	カラー (φ16×25)	1
10	パッキン	1	21	六角ボルト (M8×20)	6	32	スイッチ説明シール TD-64-182	1
11	残量センサー	1	22	六角ボルト (M8×15)	6			

(3) ホース部 (H20M、H30M、H40M)

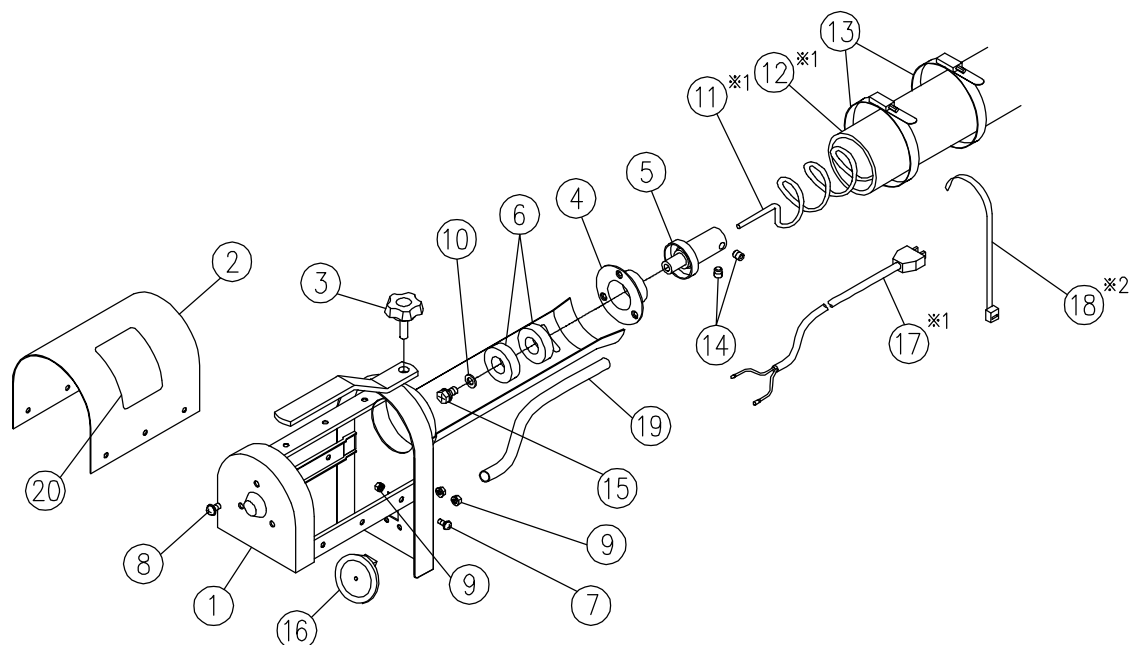
インナーロート



No	部 品 名	数 量	No	部 品 名	数 量
1	インナーロート (バネφ55用)	1	13	ホースバンド (φ80用)	2
2	ガイドバーA	1	14	ストップリング (S-15)	1
3	ガイドバーB	1	15	ストップリング (S-20)	1
4	ガイドバーD	1	16	六角ナット (M14)	1
5	ガイドバーC	1	17	セットスクリュー (M14×30)	1
6	ホースレバー	1	18	プッシュナット (φ8用)	2
7	クラッチハブ	1	19	スプリングA	1
8	駆動軸	1	20	スプリングB	1
9	ベアリング (6004Z)	2	21	トラス小ネジ (M4×12)	10
10	ソケット (バネφ55用)	1	22	ストップリング (H-42)	1
11	※1 送りバネ (外径φ55×P45)	1	23	キー (5×5×14)	1
12	※1 ホース (内径φ63×外径φ73)	1	24	セットスクリュー (M10×15)	2

※1 送りバネ、ホース、センサーコードは各機種により長さが異なります。

排出口

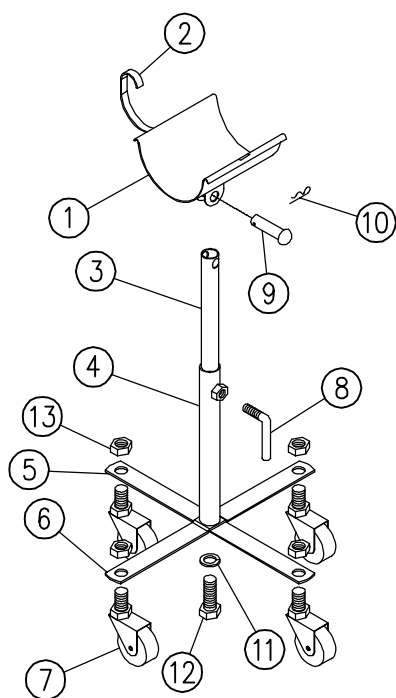


No	部 品 名	数 量	No	部 品 名	数 量	
1	排出口	1	13	ホースバンド（φ80用）	2	
2	窓	1	14	セットスクリュー（M8×10）	2	
3	ノブボルト（M8×30）	1	15	六角ボルト（M8×15 SW付）	1	
4	ベアリング受け	1	16	圧センサー	1	
5	ソケット軸	1	17	※1 センサーコード	1	
6	ベアリング（6202Z）	2	18	※2 リリースプルタイ	8	
7	ナベビス（M5×12 平座付）	6	19	ビニールチューブ	1	
8	ナベビス（M6×12 SW付）	3	20	注意、型式 シール	TE-64-110-A1（H20M）	1
9	六角ナット（M5 SW付）	8			TE-64-110-B1（H30M）	1
10	平座（M8用）	1			TE-64-110-C1（H40M）	1
11	※1 送りバネ（外径φ55×P45）	1				
12	※1 ホース（内径φ63×外径φ73）	1				

※1 送りバネ、ホース、センサーコードは各機種により長さが異なります。

※2 リリースプルタイは各機種により数が異なります。

(4) ホーススタンド部



No	部 品 名	数 量
1	保護カバー (ホース外径φ73)	1
2	ゴムバンド	1
3	支柱パイプ	1
4	スタンドパイプ	1
5	脚 A	1
6	脚 B	1
7	キャスター (車輪φ40)	4
8	Lボルト (M10)	1
9	丸頭ピン (φ8×45)	1
10	Rピン (φ8用)	1
11	バネ座 (M12用)	1
12	六角ボルト (M12×30)	1
13	六角ナット (M12 P1.25)	4

■ 仕 様

型 式	MA-05T-H30M		
全 長	1,600mm		
全 幅	1,030mm		
全 高	1,080mm		
容 量	830リットル (約18袋)		
重 量	73kg		
モーター	単相100V 0.4kW		
ホース長 (有効長)	3m (2m)		
ホース径	内径φ63×外径φ73		
排出能力	最大5~6t/h (83~100kg/分)		
首振り角度	約90°		
標準装備	ホーススタンド、雨よけシート		
上記以外の ホース完備	型 式	ホース長	有効長
	H20M	2m	(1m)
	H40M	4m	(3m)
オプション	回転 スタンド	LT-402・・・運搬台車用 LT-703・・・軽トラック用	

※ 本仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。

製造元



株式会社 たいしよー

水戸市元吉田町1027

TEL 029 (247) 5411

FAX 029 (248) 2172

No. 20120614-3